

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	法政大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ホウセイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ(都市)
	学部・研究科等名	デザイン工学部
	担当教職員名・役職	福井 恒明・教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	58
	受入企業等数	55
	受入企業等名	東武グループ(東武鉄道)、首都高速道路、日本工営、八千代エンジニアリング、福島県、国土交通省関東地方整備局、国立市、東日本高速道路、鹿島建設、大林組、清水建設、大成建設、熊谷組、五洋建設、安藤・ハザマ、東亜建設工業、西武建設、竹中土木、建設技術研究所、大日本コンサルタント、エイト日本技術開発、復建エンジニアリング、いであ、千代田コンサルタント、開発設計コンサルタント、サココンサルタント、ネクスコ東日本エンジニアリング、デバイスワークス、国際開発コンサルタンツ、オリジナル設計、中央コンサルタンツ、高島テクノロジーセンター、日建設シビル、都市環境研究所、プランニングネットワーク、イーエーユー、設計領域、Tetor、ドーコン、日本海コンサルタント、川田工業、国際航業、川越市、宮崎県庁、福井市、サンワコン、フジヤマ、埼玉県庁行田県土整備事務所、神奈川県庁、鯖江市役所、東京都(水道局)、三井ホーム、ミサワホーム、静岡コンサルタント、スターツCAM
インターンシップの分類	8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9. 中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	現場監理・設計業務等に従事。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	3年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	授業期間中に事前説明会を行い、夏季休暇中にインターンシップを行う。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	受け入れ企業の事業内容について確認のうえ、受け入れ先の希望を提出させる。マナーや守秘義務について全員について指導している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	成果報告書により振り返りを行わせている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ終了後に成果報告書を提出させ、振り返りを行わせている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間 10日間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	実施期間 10日間以上
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	1社あたり3日以上の実習を合計して10日以上
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの内容は企業の業務内容に即して設定される。受け入れ企業の指導担当者にインターンシップ評価報告書の提出を依頼している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.hosei.ac.jp/web/preview.php?no_id=1702828&nendo=2017&gakubu_id=デザイン工学部&gakubueing=AN&radd=815
問い合わせ先	大学等名	法政大学
	担当部署名	学務部教学企画課
	担当者役職名	
	担当者氏名	湯山 颯太
	電話番号	03-3264-9076
	メールアドレス	gakumu@hosei.ac.jp